

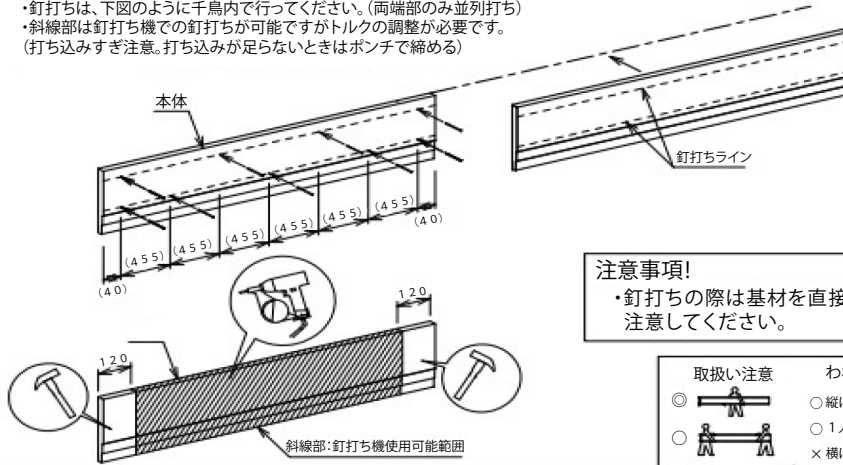
施工要領書

施工要領書

化粧破風の取り付け

1. 本体取付

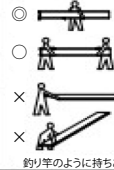
- ・釘打ちについては、下図の位置で固定して下さい。
- ・釘打ちをする際、両端から120mmの範囲は、釘打ちライン上に必ず下穴(2.3φ)加工の上、付属品の釘で手打ちしてください。
- ・本体の端部から必ず40mm以上あけた釘打ちライン上に付属品の釘で釘打ちしてください。
- ・釘打ちは、下図のように千鳥内で行ってください。(両端部のみ並列打ち)
- ・斜線部は釘打ち機での釘打ちが可能です。トルクの調整が必要です。(打ち込みすぎ注意。打ち込みが足りないときはポンチで締める)



注意事項!

- ・釘打ちの際は基材を直接叩かないように注意してください。

取扱い注意



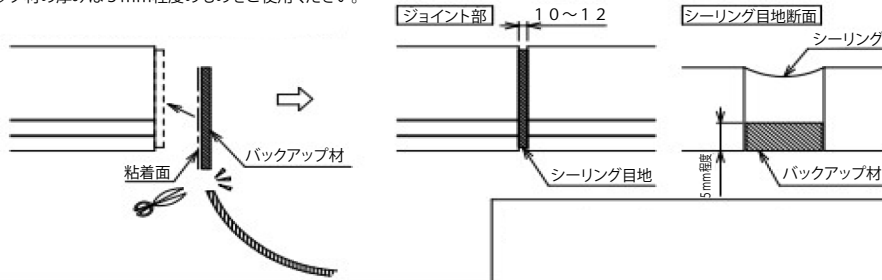
われものにつき要注意

- 縦にして持つ
- 1人の時はスパンを取って持つ
- × 横にして持たない
- × 端同士を持たない
- × 片側から持ち上げない
- × 振動させない

釣り竿のように持ちあげない

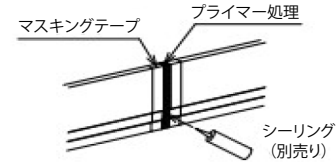
2. ジョイント部の納まり

- ・ジョイント部にはバックアップ材を貼付し、取付本体と本体のシーリング目地を10~12mm確保できるように取り付けて下さい。(下図参照)
- ・バックアップ材の厚みは5mm程度のものをご使用ください。



3. シーリング

- ・シーリングを充填する前には必ずプライマー処理を行って下さい。
- ・プライマー処理を行う際は本体表面(塗装部)に付着しないようにマスキングして下さい。
- ・シーリングを充填する際には、ノズル先端径を目地幅に合わせ気泡、打残し、隙間などが出ないよう目地の隅々まで盛り上げるよう充分に充填して下さい。

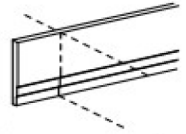


注意事項!

- ・プライマー処理を行わずにシーリング施工を行うと、剥離の原因となりますので注意して下さい。
- ・シーリングでの釘頭の補修等は、絶対に行わないで下さい。

4. 現場カット

- ・切断加工は電動丸鋸(ダイヤモンドソー)を使用して下さい。
- ・切断後の小口面には、カット粉が付着していない事を確認し、シーラー(シーラーCS-1)処理後にタッチアップ塗料(別売り)で塗装を行って下さい。
- ※タッチアップ塗料は容器をよく振ってから使用して下さい。



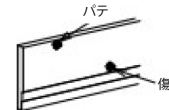
注意事項!

- ・切断時には安全眼鏡、防塵マスクなどの保護具を着用して下さい。

5. 割れ、カケ補修方法

- ・施工中についた細かい傷などは、パテ(別売り)にて基材表面が盛り上がるようにパテを充填して下さい。
- ・パテ硬化後に、サンドペーパーでパテを研磨し原形に修復した後シーラーCS-1を塗布して下さい。
- ・タッチアップを行う際は、下地のよこれをよく拭き取りタッチアップ塗料(別売り)の容器をよく振って直接タッチアップを行って下さい。

タッチアップ塗料・パテ



窯業系 不燃外装裝飾部材 セミックス

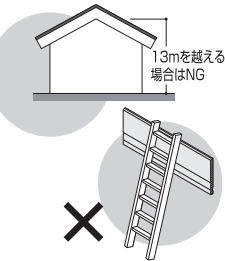
施工上の注意

このたびは、フクビ製品「セミックス」をお買い上げくださいます。有難うございました。下記の施工説明書をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

セミックス施工上の注意

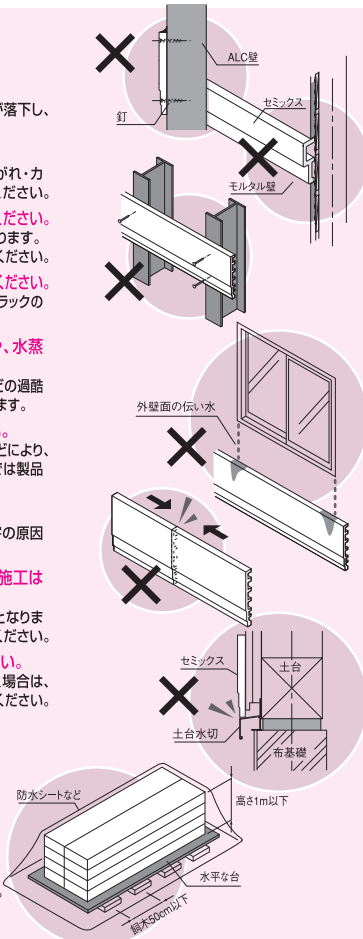
危険

- 指定以外のビス・釘、接着剤、充填剤等に施工しないでください。落下、割れ、クラックその他のトラブルの原因になります。
- 高さ13mを超える建築物には施工しないでください。強風などにより破損、落下し、下にいる人が大ケガをするおそれがあります。
- 木下地などのないところへ施工しないでください。外壁材のみに取付けると、保持力不足により製品が落下し、下にいる人が大ケガをするおそれがあります。
- 製品に足を掛けたり、物を立て掛けたりしないでください。製品または物が落下し、下にいる人が大ケガをするおそれがあります。また、割れや欠け・塗装のはがれの原因ともなります。
- ノコ刃には必ず窯業系サイディング用ダイヤモンドソーを使用してください。切断時には、防塵マスク・安全メガネなどの保護具を着用の上、集塵機付きタイプの電動丸鋸を使用してください。チップソーなどを使用すると、刃こぼれなどが発生しやすくなってしまう原因となりますのでおやめください。また、取扱いの際に製品に傷を付けないよう注意してください。



注意

- ALC壁には直接、釘で取付けしないでください。ALC壁の場合、付属の釘では十分な強度が得られず、製品が落下し、下にいる人が大ケガをするおそれがあります。
- モルタル壁へ埋込まないでください。製品の破損の発生や裏面からの吸水により、凍害や塗膜はがれ・カビなどの原因となります。モルタル壁施工後に留め付けてください。
- 鉄骨造の場合、梁や柱などの構造部材に直接取付けしないでください。鋼材の動きにより、製品に割れや欠けが発生するおそれがあります。捨張合板や木銅縁を取付けた後、その合板や木銅縁に取付けてください。
- 下地・外壁は不陸や反りの少ない平滑な仕上げとして施工してください。製品を取付ける下地・外壁に不陸・反りがあると、製品の割れやクラックの原因となります。
- 裏面から雨・水のかかる場所、常時水のかかる場所や、水蒸気の発生する場所へは施工しないでください。裏面からの吸水、異常な水分や熱の影響により、吸水や乾燥などの過酷な条件となり、ソリ・凍害・割れやその他のトラブルの原因となります。
- サッシ下部、換気フード下部は水切を施工してください。サッシ外面やフード外面の伝い水、換気フード内での結露水などにより、その下部にある製品の汚れの原因となります。また、寒冷地では製品表面に氷着して凍害などの原因となります。
- ジョイント部は突き付け施工しないでください。施工後のクラック発生、および毛細管現象により吸水し、凍害の原因となります。
- 床面への埋め込み施工や土台水切などへの突き付け施工はしないでください。製品小口面より吸水し、凍害や塗膜はがれ、カビなどの原因となります。床面や土台水切面から10mm以上隙間をあけて施工してください。
- 保管時は屋内の平らなしっかりとした場所に置いてください。製品の割れや欠けの原因となります。やむを得ず屋外に置く場合は、防水シートなどで覆って雨や飛沫のからないように保護してください。
- 地面に直接置かないでください。
- 梱包時で1m以上積み重ねないでください。
- 壁に立て掛けて置かないようにしてください。
- 持ち運びは小端立てにして運んでください。
- 特殊環境地域（温泉場・焼却場・特殊ガス・熱・酸・アルカリ・塩類が発生する地域や、工場・沿岸地区・湖・河川の周辺）では施工しないでください。塗膜剥離、割れ、クラックその他のトラブルの原因になります。



現場塗装（シーラー品）

シーラー品はセミックス適性塗料にて現場塗装を行ってください。また、各塗料メーカーの塗装仕様に従って塗装してください。

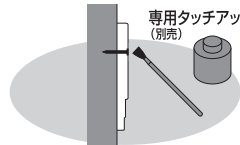
- △注意 ●シーラー品は施工後すみやかに上塗りを施してください。屋外に放置しますと、上塗りの密着性が悪くなる場合があります。



現場タッチアップ塗装（カラー品）

釘頭の周りなどに付いた小さな傷には、その傷のみに小筆でタッチアップを塗布して補修することを厳守ください。広範囲に塗りすぎると跡が目立ち、仕上がりが悪くなります。

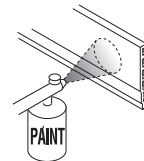
- △注意 ●必ずフクビ専用タッチアップ（別売）を使用してください。



施工後のメンテナンス

定期的な再塗装

シーラー品、カラー品を問わず、定期的に再塗装が必要です。弊社推奨塗料にて再塗装を行ってください。また、各塗料の使用上の注意をよくお読みの上、塗装してください。



別売部材

呼 称	形 状	梱包入数	備 考
シーラーCS-1	CS-1	10個（200ml）／セット	
タッチアップ塗料（破風板LH用）	タッチアップ	10個（60ml）／セット	
タッチアップ塗料（破風板LH以外用）	タッチアップ	10個（60ml）／セット	
シーリング（2本セット）	シーリング プライマー	シーリング 2本（333ml） プライマー 1缶 ／セット	ホワイト、ブラウン、ブラック用
パテCP-1	パテCP-1	10個（200g）／セット	

注意

- タッチアップについて
●釘頭の周りなどに付いた小さな傷には、その傷のみに小筆でタッチアップを塗布して補修することを厳守ください。広範囲に塗り過ぎると跡が目立ち、仕上がりが悪くなります。
- シーリングについて
●シーリング材による釘頭、ビス頭の補修はしないでください。シーリング材が変色します。



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33の66 ☎（0776）38-8013 〒918-8585
東京 ☎（03）5742-6301 大阪 ☎（06）6386-6950 名古屋 ☎（052）855-2332

札幌 ☎（011）896-7500 岩手 ☎（019）673-8254 仙台 ☎（022）287-3471
宇都宮 ☎（028）636-3521 北関東 ☎（048）661-0400 千葉 ☎（028）636-3521
神奈川 ☎（045）470-1050 新潟 ☎（025）241-7832 北陸 ☎（0776）38-8010
静岡 ☎（052）855-2332 岡山 ☎（086）232-0601 広島 ☎（082）246-7211
福岡 ☎（092）471-5800 鹿児島 ☎（099）259-0220 沖縄 ☎090-1995-2980